

町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。



大きい芋 たくさん“掘ったぞー”

町立保育所・幼稚園園児が恒例の芋ほり体験

町立の保育所および幼稚園の園児たちが、毎年恒例となっている芋掘り体験を行いました。

内田文重さん(下小谷)所有の空港近くのサツマ芋畠を一部借り受けて行われた芋掘り体験。11月1日には、第3・第4保育所の園児たちが、うねに沿って次々と芋を掘り起こし、「大きい」「先生見てー」「(形が)ニンジンみたい」と歓声を上げていました。

内田さんは、「震災で大変でしたが、子どもたちの喜ぶ顔を見て、元気が湧いてきました」と話しました。



夢中になって芋を掘る第4保育所の園児たち



最後の避難所としての役割を終えた町総合体育館メインアリーナ

開設から6か月半 避難所に幕

唯一残っていた町総合体育館避難所が閉鎖

応急仮設住宅の整備が進み、町では9月1日以降唯一の避難所としていた町総合体育館を10月31日に閉鎖しました。

発災以来、ピーク時は車中泊を含め1,350人が避難生活を送り、町内で最大の避難所となっていた同体育館。町は、その運営業務を指定管理者の公益社団法人熊本Y.M.C.Aに委託していました。副所長の丸目陽子さんは「寄り添うことを大事に続けた支援、生まれた絆を大切に、今後も町に貢献したい」と話しました。



復活した2台のピアノと演奏者による美しい共演

震災の傷が癒え、復活のコンサート

町文化会館の2台のピアノ

震災で損壊した町文化会館の2台のピアノが修復されたのを記念し、同館で11月16日、「有森博と仲間達～2台のピアノ復活コンサート～」が開催されました。

くまもと音楽復興支援100人委員会が主催した今回のイベント。事務局長の柴田敏子さんは、「仮設住宅での演奏会など、音楽で復興支援を行ってきました。今回、たくさんの人々の力を借りて開催することができました。これからも変わらず音楽による支援を続けていきたいです」と張り切った表情で話しました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

